

## インド最新動向レポート（2022年5月）

### ◎インドのコロナ現状

米国に次ぎ感染者数が約4,300万人と世界2位で、死者数も52万人を超えています。一時期は1日40万人、1年前には5～10万人の新規感染者数でしたが、現在では2,000～3,000人と激減しています。それでも都市部の大部分の人はマスクをしています。

### ◎日本政府のインドでの鉄道建設に対する日本の支援

日本政府は過去デリーの地下鉄建設や、デリームンバイ間的高速大量貨物鉄道プロジェクトに円借款していますが、このほど、ムンバイとグジャラート州アーメダバードを結ぶ500キロの高速鉄道プロジェクトに対する1,000億円の円借款が日印間で決まりました。これにより、移動時間が7時間から2時間に短縮されることになります。日本企業の受注も期待されます。

### ◎インドへの外国投資が過去最高に

コロナ禍ではありますが、昨年度の海外直接投資（FDI）は約836億ドルと、過去最大になりました。2020年度より16億ドル増えています。IT関係が25%で、サービスと自動車関連がそれぞれ12%です。インドのFDI流入額は過去20年で20倍に増加しました。

### ◎スズキが1,800億円で新工場

スズキは1981年にインド政府との合弁でマルチ・スズキを設立し、2012年には第二工場を建設し、50%超のインドの乗用車販売シェアを持つインド最大の自動車メーカーです。さらに2014年には、グジャラート州にスズキ出資100%の会社を設立しています。このマルチ社は、今年第三工場建設のため、ハリヤナ州より800エーカーの土地を取得し、約1,800億円を投資することを発表しました。操業開始は2025年。これまでインド・スズキグループは、ハリヤナ州グルガオン（年産能力70万台）、同州マネサール（同80万台）、グジャラート州（同75万台）のインド3カ所で四輪工場を運営していますが、この新工場設置により、全体の生産能力は年250万台になります。

NakajimaConsultancyServicesLLP

OfficeA-22,GreenParkMain,AurobindoMarg,NewDelhi-1100016